

特許出願番号 724015221

災害モバイル充電ステーション

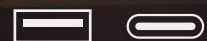
Luminaguard

ルミナガード

命をつなぐ充電ステーション。
未来の防災拠点。



ワイヤレス充電対応



USB 充電コネクタ



多端末対応充電



バッテリー内蔵



停電時照明

災害時にライフラインを守る。 行政と民間の新しい協力体制の形。

ライフラインの確保が課題

日本は地震や台風などが頻発する「災害大国」です。災害が発生すると、ライフラインの確保が大きな課題となります。そこで、災害時にはコンビニや駅が「災害時帰宅支援ステーション」として機能しています。

災害時帰宅支援ステーションの重要性

災害時、多くの人が同時に連絡を取ろうとするため、電話やインターネットが繋がりにくくなります。このような状況下では、無料の災害用 Wi-Fi「00000JAPAN(ファイブゼロジャパン)」が利用可能になり、回線が混雑している場合でも、SNS やメールを使った安否確認がしやすくなります。この災害用 Wi-Fi が利用できる公共施設や駅、コンビニ周辺は重要な防災拠点となります。

充電ステーションの不足

災害時には通話制限がかかり、電話が繋がりにくくなる一方で、データ通信は制限対象になりにくい。ため、メールや SNS での連絡が可能なケースが多く見られます。こうした状況下での安否確認や情報収集を迅速に行うには、スマートフォンの使用が不可欠です。

災害時の重要なライフラインであるスマートフォンですが、充電を行える場所が圧倒的に不足する状況となります。

そこで民間と行政が協力して街中に「災害モバイル充電ステーション」設置を提案いたします。

街中のいたるところに

「災害モバイルステーション」があれば、
「ルミナガード」が地域のライフラインを守ります。



未来の防災拠点「ルミナガード」



リチウムイオンバッテリー内蔵

停電時でも照明が点灯し、消火器とルミナガードの位置を離れた場所からでも効果的に視認できます。



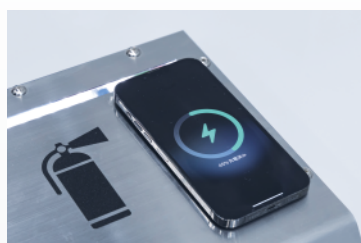
消火器一体型デザイン

火災発生時では消火器の所在地が視認しやすく
迅速な消火活動を支援します。



エッジライト

煙や暗闇の中でも消火器の位置を
明確に示します。



無接点充電機能

置くだけで充電できるワイヤレス充電を装備



USB 充電コネクタ

USB Type-A : 3つ
USB Type-C : 2つ



バッテリー残量表示



Luminaguard

ルミナガードが街中に増えれば増えるほど、
災害時のライフライン（連絡手段、情報収集）を守る事ができるようになります。

行政と企業で協力しながら、企業が今できる社会貢献。

それが、

災害モバイル充電ステーション 「ルミナガード」



特許出願番号 724015221

災害モバイル充電ステーション

Luminaguard

ルミナガード

補助金 対象製品

サイズ	300×300×800 mm
重量	10Kg
電源方式	バッテリー内蔵 + AC 給電
電池容量	256Wh (12.8V 20AH リン酸鉄リチウムイオン電池)
エッジライト点灯	停電時も点灯可能
USB 充電ポート	5USB ポート + 無接点充電機能搭載
メンテナンス頻度	バッテリー交換(約5年)

※消火器は付属しません。